

平成26年5月21日

福祉サービス第三者評価結果報告書

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

会長 仁坂 吉伸



社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会における第三者評価の結果について、別紙書類をもってご報告致します。

当該結果を活用され、貴事業所の今後のさらなる質の向上を目指して頂けることを期待します。

法人名：	社会福祉法人喜成会
代表者名：	理事長 向井 克典
事業所名：	特別養護老人ホーム喜成会
訪問調査日：	平成26年3月24日

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

②評価対象事業所

名称： 特別養護老人ホーム 喜成会	種別： 老人福祉施設
代表者氏名： 理事長 向井 克典	定員(利用者数)： 110名 (110名)
所在地： 和歌山県和歌山市北野128番地	TEL： 073-462-3033

③訪問調査日 平成 26 年 3 月 24 日

④総評

◇特に評価の高い点

1. 中期経営計画を作成し、サービス向上への取り組みや組織強化、人材育成、経営基盤の充実などの重点目標を掲げ、各年度において夫々の実現に向けて取り組んでいる。
2. 管理者は利用者サービス向上に意欲をもち、また経営や業務の効率化を図るため現在の課題を分析し、改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。
3. 利用者との密接度が高く職員は明るく真摯に利用者に対応している。
4. 医療機関との連携が密で利用者・家族が安心できる体制がとられている。
5. 地域の福祉ニーズに基づく事業活動が活発に行われている。
6. それぞれのサービスにおいてマニュアルを作成し、職員は定期的に研修、勉強会に参加しており、利用者一人ひとりに応じたケアを行っている。

◇改善を求められる点

次の事項の実施を期待したい。

- ①職員一人ひとりについて研修計画の作成
- ②介護機器等の定期的な点検
- ③サービスの自己評価の継続的实施
- ④職員への個人情報についての研修の実施
- ⑤食事の選択性への検討

⑤第三者評価結果に対する事業所のコメント

当施設では、今回初めて第三者評価を受審致しました。自己評価に関しましては、経営層と主任・リーダー、生活相談員が中心になり、多くの職員の参画により共通評価基準と内容評価基準に基づきそれぞれが忠実に実施し、すり合わせを行った結果を協議の上まとめ上げました。自己評価を真摯に実施することにより、当施設の強み及び弱みが明らかになり、現状を把握する上で大変参考になりました。そして法人理念・基本方針に基づきサービスの質の向上に向けて長年継続して取り組んできた事に対して、高い評価をいただけたことは役職員一同大変喜んでおります。同時に改善点としてご指摘いただいたところは出来るだけ早急に改善を図り、更に利用者本位のサービス提供に努めると共に、サービスの質の向上に向け取り組んで参りたいと考えています。そして第三者評価を受審したことで終わらず、改善に向けた取り組みを継続して実施していく事により次回受審までの期間を有効に活用し、地域に信頼され、選ばれる福祉サービス事業所となる為の取り組みを邁進して行く所存です。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果と評価理由(別紙)